

令和 4年度予算見積調書

課室名：ICT教育推進課
 担当名：企画・総合調整、学びの改革担当
 内線：7556 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B38	「教育の情報化」基盤整備費			一般会計	教育費	高等学校費	教育振興費	情報教育推進費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504 質の高い学校教育の推進		SDGsターゲット	4-1
1 事業の概要			5 事業説明						
県立学校間ネットワーク、校内LAN、校務支援システム、教員用コンピュータ等の「教育の情報化」に係る基盤を整備する。 (1) 校務支援システム管理運営費 61,670千円 (2) 校内用コンピュータ管理運営費 49,780千円 (3) 教員用コンピュータ管理運営費 495,780千円 (4) 生徒用コンピュータ管理運営費 1,041,693千円 (5) 教育情報ネットワーク管理運営費 609,527千円 (6) ICT活用支援事業 52,934千円			(1) 事業内容 ア 校務支援システム管理運営費 61,670千円 イ 校内用コンピュータ管理運営費 49,780千円 ウ 教員用コンピュータ管理運営費 495,780千円 エ 生徒用コンピュータ管理運営費 1,041,693千円 オ 教育情報ネットワーク管理運営費 609,527千円 カ ICT活用支援事業 52,934千円 (2) 事業計画 ア 校務支援システムを利用することで校務の効率化を図る。 イ HR、図書館、進路指導室等の共用PCを整備する。 ウ 教員用PCを整備する。 (ア)校務用PC (校務支援システムや総務事務システムなどで使用) (イ)学習用PC (学習活動で使用) エ 生徒用コンピュータを整備する。 (ア)パソコン教室用機器 (イ)協調学習用、低所得者向け機器 オ 学校間ネットワークやアクセスポイント、ファイルサーバ等を管理運営する。 カ 授業目的公衆送信補償金制度を利用する。 (3) 事業効果 ア 教員が生徒と向き合う時間を増加させる。 イ 生徒の興味・関心を高め、自ら調べる学びを支援する。 ウ 校務・学習指導などを適切に実施することができる。 エ 教科「情報」にてプログラミング教育及び各種授業で生徒がICTを活用した学習を実施することができる。 オ 円滑なネットワークの運営や総合的なセキュリティ対策が行える。 カ 授業において著作物をインターネット経由で活用できる。 (4) その他 【前年度からの変更点】 ア 教員の学習用端末の新規要求による増加 イ ICT支援員を教育総務費へ移行						
2 事業主体及び負担区分									
(1)～(6) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
地方交付税(単位費用) (区分)高等学校費、特別支援学校費 (細目)生徒、学級経費(細節)生徒、学級経費 (積算内容)教育用コンピュータ等									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×3.5人=33,250千円									
			財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
予算額									
決定額	2,311,384							2,311,384	△13,871
前年額	2,325,255							2,325,255	